

2024 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 医療心理科 | | 科 目 区 分 | 専門基礎分野 | 授業の方法 | 講義 |
|---|-----------|-----------------|---------------------------------|------------------------------|-----------------------|------------------|
| 科 目 名 | 社会福祉調査の基礎 | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (2) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 3年 | | 学期及び曜時限 | 前期 火曜2限 | 教室名 | 5校舎8階 |
| 担 当 教 員 | 湯谷菜王子 | 実務経験と その関連資格 | | | | |
| 《授業科目における学習内容》 ①社会福祉調査の意義と目的について理解する。②社会福祉調査と社会福祉の歴史的関係について理解する。③社会福祉調査における倫理や個人情報ほどについて理解する。④質的調査の方法及び調査の結果について適切に理解する。⑤量的調査の方法及び調査の結果について適切に理解する。⑥ソーシャルワークにおける評価の意義と方法について理解する。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 定期試験の点数70% 出席点20% 小テスト・授業態度10% | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 日本ソーシャルワーク教育学校連盟, 2021, 『社会福祉調査の基礎』中央法規出版. 喜岡恵子, 2021, 『Excelではじめる調査データ分析：企画から統計解析まで』オーム社. | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 国家試験対策として取り組むこと。 卒業論文で行う調査とも結びつけて考えること。 | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 調査の手法については、卒業論文で実際に使えるようになることを目指します。 | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第1回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 社会調査の概要と調査の全体の流れについて理解する | 喜岡(2021)1・2章 | | 卒業論文と結びつけて考える |
| | | 各コマにおける授業予定 | 社会調査の意義と目的、調査の企画 | | | |
| 第2回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | データの収集に関する事柄、統計で使われる基本的な数値を理解する | 中央法規: 4章5節 喜岡(2021)4～6、8章 | | 卒業論文と結びつけて考える |
| | | 各コマにおける授業予定 | 母集団と標本、データの収集、基本統計量 | | | |
| 第3回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | アンケート調査票を作成する際の注意点を理解する | 中央法規: 4章3・4節 喜岡(2021)3章 | | 卒業論文と結びつけて考える |
| | | 各コマにおける授業予定 | 質問票の作成 | | | |
| 第4回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | データを図表で表す方法について理解する | 中央法規: 4章5節 喜岡(2021)6・7章 | | 卒業論文と結びつけて考える |
| | | 各コマにおける授業予定 | クロス集計表、度数分布表とヒストグラム | | | |
| 第5回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 調査倫理、調査の視座について理解する | 中央法規: 1・2章 | | 国家試験対策も視野に入れること。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 社会福祉調査の意義と目的、調査倫理 | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|------|-------------|------------------------|-------------|----------------------------------|
| 第6回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 社会福祉における調査の特徴を理解する | 中央法規:3章 | 国家試験対策も視野に入れること。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 社会福祉調査のデザイン | | |
| 第7回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 量的調査の概要と方法について理解する | 中央法規:4章1・2節 | 国家試験対策も視野に入れること。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 量的調査 | | |
| 第8回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 量的調査の特徴について理解する | 中央法規:4章3・4節 | 国家試験対策も視野に入れること。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 量的調査 | | |
| 第9回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 量的調査の分析方法について理解する | 中央法規:4章5節 | 国家試験対策も視野に入れること。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 量的調査 | | |
| 第10回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 質的調査の概要と方法について理解する | 中央法規:5章1・2節 | 国家試験対策も視野に入れること。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 質的調査 | | |
| 第11回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 質的調査の特徴について理解する | 中央法規:5章3・4節 | 国家試験対策も視野に入れること。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 質的調査 | | |
| 第12回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 質的調査の分析方法について理解する | 中央法規:5章5節 | 国家試験対策も視野に入れること。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 質的調査 | | |
| 第13回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | ソーシャルワークにおける評価について理解する | 中央法規:6章 | 国家試験対策も視野に入れること。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | ソーシャルワークにおける評価 | | |
| 第14回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 卒業研究の調査に利用できる | テキスト | 国家試験対策も視野に入れること。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 復習 | | |
| 第15回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 卒業研究に応用できる | テキスト | 卒業論文と結びつけて考えること。国家試験対策も視野に入れること。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 振り返りと総まとめ | | |